

最近、この「呑川レポート」に関する反応が早くて、恐縮しています。
感想をいただくのは、とてもうれしく思っています。
こちらも、ご返事をなるべく早く差し上げようと思えます。

その中で「今、どんなことに取り組んでいるのですか？ 興味津々です。」
との質問をいただきました。
明日（2018/2/10）の「大森南図書館・呑川講座（2日目）」は、
私の担当（呑川で出逢える生きものたち）ですので、
今日はこれから、少しゆったりと再チェックをしようと思っています。
（急いでチェックすると、だいたいは肝心の所が抜けてしまうのです。）

（知ってもらいたい！ 「美しい呑川」・・・）

私は、小学生の子どもたちが競うような「呑川・物知り博士」に、
「大人」がなるのはあまり意味が無いと思っています。
たしかに、あれは「カルガモ」、これは「オナガガモ」、
そしてあつちは「キセキレイ」・・・などと言えるのは、
「君はよく知っているね。すごい！」などと褒められ、
友だちからも羨望の的となります。

特に男の子は「虫博士」が多く、実に細かく、その判別法まで
知っていてビックリします。
しかし、そういう男の子が大きくなったとき・・・
今、大学の「生物学部」の学生の大多数が女性で占められています。

私は、沢山の種類の「名前」を覚えるより、例えば「カルガモ」は
この「呑川」でどんな暮らしをしているのか、何を食べているのか、
冬は・・・夏は・・・、昼は、夜は・・・子育てはどこで、どんな風に・・・などと
自分で観察し、追求して欲しいのです。
すると、意外なことが判るのです。
例えば、「洗足池」と「呑川」では、カルガモの「採餌」の方法が
大きく違うのです。
「池」と「川」の環境に違いが、浮き彫りになります。
そして「生きもの」への理解がグンと深まります・・・

そんな訳で、私はいつも「生きもの」の「生きざま」を追っています。

しかし、同時に「呑川を愛する」人々の集まりである「呑川の会」の

会員として、多くの方に「香川の良いところ・美しいところ」を知って欲しいと願っています。

ですから、現在開催中の「大森南図書館・連続5回香川講座」でも、そういう視点でプレゼン内容、とりわけ写真の撮り直しを積極的に進めています。

そして「香川って、なかなか良いところだね」、「行ってみたい」「見てみたい」と心を動かし、香川に「親しみ」を感じ、「愛情」を抱いて欲しいと願っています。

たとえば、「香川講座」では、「香川では、夕方になるとユスリカを食べにアブラコウモリが沢山やって来て、空を舞います」などと説明します。

でも、その写真が美しくないと、それは「知識」だけになり、「香川に行ってみよう、見てみよう」という気持ちになれません。「3面コンクリート」の「無味乾燥な川」というイメージがあまりに強いからです。



これは、最近新しく撮影した「アブラコウモリ」の写真です。
場所は、中央の右下寄りの樹木・アオギリのシルエットで判るように、

香川沿いの公園「上香川児童公園」です。

雲が無い空の「夕焼け」はきれいでも、深みが無いので印象は浅くなります。
そこで、空に模様が出る「曇り空」の夕焼けの日に、コウモリが舞う姿を
捕らえました。

今までの講座での説明写真は、薄汚れた日暮れ写真でしたので、私は
数年間ずっと、じゅくたる想いでしたが、やっと小さなステップを踏みました。
数年間もかかったのは、夕焼けがキレイな時に、かならずしもコウモリが
空を舞うとは限らないからでした。

時間が掛かっても、こういう写真を撮るのは、

「ああ、キレイですね。私もこんな様子を見てみたいわ・・・」と
想っていただきたいからです。

今までは、講座の日までに、プレゼンをなんとか間に合わせるために、
キレイであろうが、なかろうが、その生きものが「写っていれば良い・・・」という、
いわば気持ちがこもっていない、事務的な「やっつけ仕事」でした。
恥ずかしい限りです。

「生きもの紹介」のプレゼンテーションであっても、同時に、
心を動かす「香川の魅力」を伝えることが大切だと想っています。

でも、これはあまりにも小さなステップです。

この夕焼け写真に、出来れば「香川」そのものが、写っていて欲しいのです。

「香川」を写そうとすると、レンズを「水平」にするか、やや「下向き」
にしなければ、「水面」は写りません。

「洗足池」と違って、護岸から6m位も深いところに香川の「水面」が
あるからです。

のぞき込まなければ、水面は見えないという問題があります。

「広角レンズ」にすれば、なんとかなる可能性があります、
こんどは「アブラコウモリ」が小さく点のように写り、何が写っているのか
判らなくなります。

どうしたら良いか、大いに迷うところです。

でも「水面反射」は、「川」の魅力であり、それをどううまく表現するかは
大きな課題で、「今、何をしているの？」と聞かれれば、
いつも、それに取り組んでいるとも言えます。



ここは、池上の「浄国橋」付近です。

護岸のツタが、水面に反射して、散歩する人の心をなごませます。

しかし、この場所のツタは、枯れて、今は無くなりました。

それは、私の住む上流部（石川町）も同じで、石川台中学の前にあった

「ヘデラ」のカーテンも「新型フェンス」取替工事で無くなり、

新しく植栽された「ヘデラ」が育つまで、こんな水面反射は見えなくなりました。



でも、救いは・・・この地域は比較的「緑が多い」「樹木が多い」事です。

(石川町2丁目第2児童公園・38橋付近)

気持ちの良い雰囲気を壊さないように、ゴミは川沿い道路から見えないように置かれています。

春になり若葉が繁ると・・・



「水面」に、若葉が反射してグリーンに輝き、「春の訪れ」を香川の「水面」からも感じさせてくれるのです。

ですから、「生きもの」の紹介を、こんな香川の「美しい情景」と合わせて、紹介できないかといつも考えています。

こういう「水面反射」に接すると、「夕焼け」が香川の「水面」に映り込み、その上空を「アブラコウモリ」が舞う写真がなんとか撮れないかと、挑戦したくなります。

また、個々の生きものの紹介も、見直しが迫られています。

「川の宝石と言われるカワセミが、香川にもいます」・・・と、カワセミの紹介には、必ずその「美しさ」を伝えます。そう表現する以上、誰もが「ああ、キレイだね」と思う写真を見てもらわなければなりません。



「カワセミ」も、撮り直して、撮り直して・・・やっとなんとか、ここまで来ました。太陽の光の方向に、顔を向けて、目にキャッチライトが映り込んだ瞬間の写真となりました。今まで紹介した写真より、少しは生き生きとした写真になったでしょうか・・・残念ながら、この日は快晴では無く、薄曇りでしたので、躍動するキラキラ感もうちょっとでした。これまた、次の課題となって残りました。

みんなが「わあ、カワセミってこんなにキレイなの・・・ぜひ見てみたい！」と心を動かすようになればと思います。

「図鑑」のような、無味乾燥なイラストを羅列する「生きもの紹介」にしたくないのです。

「生きもの紹介」の目的は、生きものの「種類」を知ってもらうため無く、この「香川」に親しみを感じ、大好きになっていただき、愛していただくためなのです。

もう一つ「香川講座」で重視しなければならない事があります。

毎年「地域」を変えて開催しているのですが、参加者は、やはり自分の住む地域のことに関心があります。

今回は呑川「下流域」で開催されます。

昨年、世界的に大規模な観客動員となった「シン・ゴジラ」・・・

このゴジラは、東京湾から「多摩川」を遡上するかと思いきや、なんと我が「呑川」を上ってきたのです。



そして「呑川」の「あやめ橋」付近（蒲田）で上陸して、蒲田駅方向に進んだのです。

まだ、ゴジラの幼少期（第2形態）の時でした。

左上の端っこに「五丁目」の信号表示が見えます。

これは、実際にある「蒲田五丁目」の信号機の表示なので、この場所を思い浮かべる方も多いことでしょう。

さて、どうして「シン・ゴジラ」は、「呑川」を遡上して来たのでしょうか・・・？

そこに呑川「下流域」の特徴が良く現れているのです。

このことは、講座4回目（2/24 呑川現代史）で触れたいと思っています。

「今、どんなことをしているのか？」のご質問に、かいつまんでご返事しました。

「呑川講座」の開催や、「新版・呑川は流れる」の発行に当たって、それぞれの担当者は大変な努力をしています。

その内容を見ると、皆さん、とても苦労され、がんばっているのがよく判ります。

それは「講座」の会場で配られる資料を見ても良く判り、私などはとてもそこまでは作れないでいます。

そういう意味で、私はいつも遅れ気味で申し訳なく思っています。

それでも、いつ撮れるか判らない「美しい呑川シーン」を追いかけ続けています。

————— (呑川の会・当面の活動) —————

- (2018/2/3) 「連続5回・呑川講座」(第1回 呑川の源流と支流) 大森南図書館
- (2018/2/10) 「連続5回・呑川講座」(第2回 呑川で出逢える生きもの・樹木) 大森南図書館
- (2018/2/12) 呑川講座オプション「呑川中流ウォーク」夫婦橋親水公園～池上
- (2018/2/16) 「久原フェスタ」(小学4年生の呑川研究発表) 久原小学校
2/17 まで2日間。4年3組教室にて午前中6回に分けて発表
- (2018/2/17) 「連続5回・呑川講座」(第3回 呑川の水害と水質) 大森南図書館
- (2018/2/24) 「連続5回・呑川講座」(第4回 歴史の中の呑川) 大森南図書館
- (2018/3/3) 「連続5回・呑川講座」(第5回 呑川の未来) 大森南図書館
- (2018/2/25) 「エコフェスタ・ワンダーランド」おなづか小学校
- (2018/3/8) 「呑川の会・定例会」ふれあいはすぬま
- (2018/3/10) 「大人のかんきょう楽校」池上会館
- (2018/3/15) 「呑川ネット・定例会」生活センター
- (2018/3/31) 「春の都市河川ウォーク」

————— photo essay by —————

高橋 光夫

〒145-0061 東京都大田区石川町1-26-8

(tel) 03-3727-8419 (fax) 03-3727-8505

(mail) mitsuo.takahashi@nifty.com